

研 究 業 績

平成22年6月4日

氏名：赤堀 雅幸

単著：

- 2002.3. *Ziyāra and Saint Veneration among the Bedouins in the Western Desert of Egypt*, Islamic Area Studies Working Paper Series No. 27, Tokyo: Islamic Area Studies Project, 20 pp.

編著：

- 2008.3.31 『民衆のイスラーム—スーフィー・聖者・精霊の世界』東京：山川出版社
2005.1.20 赤堀雅幸・東長靖・堀川徹編『イスラームの神秘主義と聖者信仰』（イスラーム地域研究叢書第7巻）東京：東京大学出版会、340頁。
Masayuki Akahori, Yasushi Tonaga and Toru Horikawa (eds.), *Sufism and Saint Veneration in Islam*, Islamic Area Studies vol. 7, Tokyo: University of Tokyo Press.

論文：

- 2008.2.28 “The Transformation of Saintliness in the Process of Succession: Saints and Their Descendants in the Western Desert of Egypt,” 『アジア文化研究所研究年報』（東洋大学）、第42号、224-231頁。
Annual Journal of the Asian Cultures Research Institute, Toyo University.
- 2007 “Narrating Tales of Saints is Making Saints: Three Different Hagiographic Traditions of a Muslim Saint in the Egyptian Desert,” Special Issue: Birth and Succession of Holiness among Sufis and Saints, *Orient* 42: 27-39.
- 2005.2.1 「イスラームと多元主義、イスラームの多元主義」泉邦寿・松尾弑之・中村雅治編『グローバル化する世界と文化の多元性』東京：上智大学出版会、79-96, vi-xi頁。
“Pluralism and Islam, Pluralism of Islam,” Kunihisa Izumi, Kazuyuki Matsuo and Masaharu Nakamura (eds.), *Cultural Pluralism in the Global Age*, Tokyo: Sophia University Press.
- 2005.1.20 「スーフィズム・聖者信仰複合への視線」赤堀雅幸・東長靖・堀川徹編『イスラームの神秘主義と聖者信仰』（イスラーム地域研究叢書第7巻）東京：東京大学出版会、1-19頁。
Masayuki Akahori, Yasushi Tonaga and Toru Horikawa (eds.), *Sufism and Saint Veneration in Islam*, Islamic Area Studies vol. 7, Tokyo: University of Tokyo Press.
- 2005.1.20 「聖者信仰研究の最前線—人類学を中心に」赤堀雅幸・東長靖・堀川徹編『イスラームの神秘主義と聖者信仰』（イスラーム地域研究叢書第7巻）東京：東京大学出版会、23-40頁。
Masayuki Akahori, Yasushi Tonaga and Toru Horikawa (eds.), *Sufism and Saint Veneration in Islam*, Islamic Area Studies vol. 7, Tokyo: University of Tokyo Press.
- 2004.12.27 “Partly Saints and Partly Bedouins: The Murābiṭīn People among the Bedouins of the Western Desert of Egypt,” special issue: “Towards New Perspectives on Studies of Sufis, Saints and Sayyid/Sharifs,” *Journal of Sophia Asian Studies* 22: 75-86.
- 2004.9.30 「イスラームの聖者と聖者のイスラーム—民衆信仰論の一環として」『宗教研究』第341号（第78巻第2輯）、229-250, x (705)頁。
“The Place of Saint Veneration in Islam,” *Journal of Religious Studies* 341 (78/2).
- 2004.3.20 「現代イスラーム世界における情報技術革新の影響をめぐる研究への序論」上智大学アジア文化研究所・上智大学地球環境研究所編『環境と開発に関するアジア地域比較研究—ITかとグローバル化の進展のなかで』（2002・2003年度日本私立大学振興・共催事業団学術研究振興資金報告書）東京：上智大学アジア文化研究所・上智大学地球環境研究所、189-195頁。
- 2003.11.5 「ムスリム民衆研究の可能性」佐藤次高編『イスラーム地域研究の可能性』（イスラーム地域研究叢書第1巻）東京：東京大学出版会、185-210頁。
Tsugitaka Sato (ed.), *The Scope and Potential of Islamic Area Studies*, Islamic Area Studies vol. 1, Tokyo: University of Tokyo Press, 2003.
- 2002.1.30 「ベドウィン伝統歌謡の継承と変容」大塚和夫編『現代アラブ・ムスリム世界—地中海とサハラのはざままで』京都：世界思想社、47-80頁。
- 2000.2.28 「エジプトの社会福祉」和崎春日・宇佐見耕一編『アフリカ・中南米・スペイン』（世界の福祉

- 第11巻) 東京: 旬報社、237-257頁。
- 1997.7.31 「死をめぐるイスラームの儀礼」比較家族史学会監修、孝本貢・八木透編『家族と死者祭祀』(シリーズ比較家族第9巻) 東京: 早稲田大学出版部、189-216頁。
- 1996.3.31 「聖者が砂漠にやってくる—知識と恩寵と聖者の外来性について」『オリエント』第38巻第2号、103-120頁。
 “When the Saints Go Marching into the Desert: On knowledge, grace and strangeness in the saint worship of the Egyptian Bedouin.” *Bulletin of the Society for Near Eastern Studies in Japan* 38/2: 103-120.
- 1996.3.25 「つながれた人々—エジプト西部砂漠ベドウィンのムラービティーン概念をめぐる」専修大学現代文化研究所『現文研』72号、2-19頁。
 [“The Tied Ones: On the Concept of Murābiṭīn among the Bedouin of the Western Desert of Egypt.” *Genbunken (Annual Paper of the Institute for Studies of Contemporary Cultures, Senshu University)* 72: 2-19.]
- 1994.6.30 「伝統を問い直す者たち—現代エジプトのベドウィンにみるイスラーム回帰への視線」『イスラーム世界』第43号、55-81、159-160頁。
 “Eyes to Question Tradition: The Islamic Movement among the Younger Generation of Egyptian Bedouin,” *The World of Islam* 43: 55-81+159-60.
- 1994.3.31 「アスルーエジプト地中海沿岸のベドウィンに見る祖先と自己との関係の表現」『民族学研究』第58巻4号、307-33頁。
 “Asl: The Expression of Ancestry among the Bedouin of the Mediterranean Coast of Egypt,” *Minzokugaku Kenkyu (The Japanese Journal of Ethnology)* 58/4: 307-333.
- 1994 “Democracy in the Desert? The Bedouin in the Western Desert and the National Election to the People's Assembly in 1990, Egypt,” *Nilo-Ethiopian Studies* 2: 15-25.
- 1987.3.31 「アミールとファブド—中東の遊牧民集団における『首長制』と『リニイジ体系』」東京大学提出社会学修士号申請論文。
- 1985.3.28 「キレナイカにおけるベドウィン社会—理念としてのリニイジ体系」東京大学提出教養学士号申請論文。

研究報告:

- 2010.3.20 「イスラーム期以降のアラブ系部族の特徴」大沼克彦・西秋良宏編『紀元前3千年紀の西アジア—ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』東京: 六一書房、121-127頁。
- 2010.3.15 Masayuki AKAHORI, Hidemitsu KUROKI and Teruaki MORIYAMA, “Geo-historical Survey of Ghanem al-Ali and Wadi al-Rahum,” Special Issue: Preliminary Reports of the Syria-Japan Archaeological Joint Research in the Region of Ar-Raqqa, Syria, 2009, *Al-Rāfidān* 31: 97-99.
- 2010.3.15 “Preliminary Anthropological Survey of the Villages in Wādī Raḥūm and around Tall Ghānim al-‘Alī,” *Al-Rāfidān Special Issue 2010: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*, pp. 91-96.
- 2010.2.20 「公募研究『人類学・歴史学によるアラブ系部族組織再考』」『Newsletter「セム系部族社会の形成」』18号、23-24頁。
- 2008.2.28 「カイロ市におけるイスラームの伝統価値規範のフィールド調査」アジア文化研究所・現代社会総合研究所研究所間プロジェクト「イスラーム世界における伝統的秩序規範の持続と変容」2006-2007年度研究調査報告書『アジア文化研究所研究年報』(東洋大学)、第42号、221-222頁。
 Annual Report of the Research Project among Research Institutes (2006-2007): The Continuance and Transformation of the Traditional Order Models in the Islamic World, *Annual Journal of the Asian Cultures Research Institute*, Toyo University.
- 2004.12.31 「中東人類学の展開と現在」上智大学外国語学部アジア文化研究室編『新・地域研究のすすめ—アジア文化編』東京: 上智大学外国語学部、108-120頁。
- 2002 “Social and Anthropological Studies: Started Lately but Developing Rapidly,” *Orient* 37: 98-118.
- 2002.3.31 「エジプト西部砂漠ベドウィンにみるイスラーム実践の今日的諸相」財団法人庭野平和財団『平成12年度研究・活動助成報告集(第10巻)』東京: 財団法人庭野平和財団、27-32頁。
- 2001.3.31 「シリア・アラブ共和国アレッポ県キスク村、とくにキスク・シャマリー集落に関する社会調査予備報告」『オリエント』第43巻第2号、132-146頁。
 “A Preliminary Report of the Anthropological Research at the Hamlet of Qisq al-Shamālī, Syria,” *Bulletin of*

- the Society for Near Eastern Studies in Japan (Nippon Oriento Gakkai)* 43/2: 132-146.
- 2001.3 「シリア・アラブ共和国アレッポ県キスク村、とくにキスク・シャマリ集落に関する社会調査予備報告」大塚和夫編『グローバル化の中のアラブ・ムスリム世界—人類学的アラブ研究の展望』日本学術振興会科学研究費補助金（平成11-12年度）研究（C）（1）研究成果報告書、77-88頁。
- 2001 “The Socio-Historical Setting of Kosak Shamali: A Filed Report from a Modern Village on the Euphrates, Syria,” Yoshihiro Nishiaki and Toshio Matsutani (eds.), *Tell Kosak Shamali: The Archaeological Investigations on the Upper Euphrates, Syria, Vol. 1, Chalcolithic Architecture and the Earlier Prehistoric Remains* (UMUT Monograph 1), Tokyo: The University Museum, The University of Tokyo, pp. 41-48.
- 2000.3.15 小杉泰・赤堀雅幸・林佳世子・保坂修司他「イスラーム地域研究 デジタル情報化時代の研究方法」『地域研究スペクトラム』（京都大学大学院アジア・アフリカ研究科連関地域講座）第4号、2-18頁。
- 2000.3 「シリア・アラブ共和国アレッポ県コサック村、とくにコサック・シャマリ集落に関する社会調査予備報告」西秋良宏編『紀元前5-4千年紀の北メソポタミアにおける土器製作工人に関する社会考古学的研究』文部省科学研究費補助金（平成9-11年度）基盤研究（C）（1）研究成果報告書、53-66頁。
- 2000.3 「伝統歌謡の継承をめぐる試論—エジプト西部砂漠ベドウィンを事例に」大塚和夫編『ムスリム社会における民俗知識の継承とその変容—北アフリカの民族誌学的研究』文部省科学研究費補助金（平成8-10年度）国際学術研究（学術調査）研究成果報告書、87-103頁。
- 1995.10.14 「『オリエンタリズム』と中東民族誌の今日」『社会人類学年報』第21号、141-160頁、東京：弘文堂。
[“Contemporary Ethnographic Works on the Middle East and *Orientalism* of Edward Said,” *Shakai-Jinruigaku-Nenpo (Annual Papers of Social Anthropology)* 21: 141-160.]
- 1994.3.15 「リビア砂漠地中海沿岸における遊牧民の移動」東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所「イスラーム圏における異文化接触のメカニズム」プロジェクト班編『イスラーム圏における異文化接触のメカニズム—人間動態と情報—3』95-118頁、東京：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。
[“Migration of Nomads in the Mediterranean Coast of the Libyan Desert,” *Research on The Mechanism of Cultural Contacts in the Islamic World Vol. 3: The Dynamic Movement of People and Information*, Tokyo: Institute for the Study of Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo University of Foreign Studies.]
- 1992.9.15 「エジプトのベドウィン社会—詩と歌謡の今日」『現代の中東』第13号、64-69頁、東京：アジア経済研究所。
“Bedouin Society in Egypt: The Verse, Song, and Dance,” *The Contemporary Middle East* 13: 64-69.
- 1992.3.31 「1990年エジプト人民議会選挙と遊牧民アウラード・アリー」『日本中東学会年報』第7号、355-394頁。
“The Political Actions of the Awlad Ali Bedouins in the General Election of the People’s Assembly of Egypt in 1990,” *Annals of Japan Association for Middle East Studies* 7: 355-394.
- 読物：**
- 2010.3.31 「哀しくて、やがて面白、アラビア語」吉田研作編『外国研究の現在と未来』東京：上智大学出版、223-231頁。
- 2010.1.20 「遊牧をやめた遊牧民たち—エジプト西部砂漠のベドウィンと20年間つきあうこと」特集「ムスリムの生活世界とその変容」（飯塚正人責任編集）、『Field+』3号、4頁。
- 2005.11.20 「『スーフイズム』をめぐる研究の展開」『歴史と地理—世界史の研究』第205号（通巻第589号）、38-41頁。
- 2005.8.5 「聖者祭の風景から—等身大のイスラームをとらえるために」イスラーム地域研究2『UP』第394号（8月号）、14-19頁。
- 2005.7.20 「世界の喫茶店／Coffee Shops of the World 6」*AGLOS News* 6: 54.
- 2005.1.30 「父系、父権、遊牧、イスラーム」田中雅一・中谷文美編『ジェンダーで学ぶ文化人類学』京都：世界思想社、39-56頁。
- 2003.10.1 「移りゆくベドウィンの暮らし」『地理・地図資料』（帝国書院）第149号（2003年10月号）、14頁。
- 2003.6.30 「私にとってAGLOSとは—人類学／AGLOS Viewpoints: Anthropology」*AGLOS News* 2: 8-9.

- 2002.10.1 「エジプト／『世界の母』の国のイスラーム」『アジア研ワールド・トレンド』第85号、20-21頁。
- 2002.1.13 「ベドウィンの暮らしーナイルの繁栄を支えた砂漠の民」『遙かなるナイル、混沌の都ーカイロ』（週刊朝日百科ー世界100都市ー007）東京：朝日新聞社、22-23頁。
- 2001.10.25 「豚と大仏とイスラーム」『ソフィアー地球志向の英知を求めて』第50巻第1号（通巻197号）、106-112頁。
 “Drums in the Distance: Towards New Understandings of Islam,” *Sophia* 50/1 (197): 106-112.
- 2001.9.30 「砂漠の民『ベドウィン』の暮らし今昔ー西方砂漠の地中海沿岸地域より」WCG編集室編『ワールド・カルチャーガイド エジプトー悠久のおもしろ国へ』東京：トラベルジャーナル、186-189頁。
- 2001.9.30 「“地中海の花嫁”アレクサンドリアを散策するーヘレニズムの面影を残す街並み」WCG編集室編『ワールド・カルチャーガイド エジプトー悠久のおもしろ国へ』東京：トラベルジャーナル、190-191頁。
- 2001.5.15 「ベドウィンたちとの暮らし」（外国に暮らして11）『コミュニティ』第127号、72-75頁。
- 2000.7.10 「遊牧民と文明ー古代メソポタミアの牧民たち」松井健・NHKスペシャル「四大文明」プロジェクト編『NHKスペシャル 四大文明 メソポタミア』東京：日本放送出版協会、205-212頁。
- 1998.4.20 「ジャスミンのかおる朝を君にー挨拶の言葉としぐさ」大塚和夫編『暮らしがわかるアジア読本ーアラブ』東京：河出書房新社、48-54頁。
 [“A Good Morning with Jasmine to You: Greetings and Mannerisms.”]
- 1998.4.10 「石の天幕、鉄の馬ーベドウィン／エジプト西部砂漠のアラブ遊牧民／エジプト」佐藤浩司編『シリーズ建築人類学 世界の住まいを読む1ー住まいをつむぐ』京都：学芸出版社、159-176頁。
 [“Stone Tents and Iron Horses: Contemporary Life of the Tent Dwellers in the Western Desert of Egypt.”]
- 1997.11.10 「ベドウィンはどこにいるかーエジプト西部砂漠の人々の暮らし」『月刊アフリカ』第37巻第11号（11月号）、16-20頁。
 [“A View to the African Studies from a Field in the Egyptian Desert.”]
- 1996.8.10 「世界のデザインー緑なす生命の樹」『NEWSLETTER GALLERIA』第7号、9頁。
- 1995.12.15 「フィールドからの便りーアレクサンドリアからの手紙」『JANESニューズレター』第5号、26-7頁。
- 1995.12.12 「世界のデザインー水ギセルの楽しみ」『NEWSLETTER GALLERIA』第6号、10頁。
- 1995.7.31 「世界のデザインーハットのわざーアラビア語を書く」『NEWSLETTER GALLERIA』第5号、8頁。
- 1995.7.10 「イスラームの葬送事情2ーイスラームの葬礼、その実際」『葬儀』第28号、105-108頁。
- 1995.5.10 「イスラームの葬送事情1ーイスラームの葬礼、その基本」『葬儀』第27号、45-48頁。
- 1994.11.10 「ベドウィンのイスラームーエジプト」板垣雄三監修・片倉もところ編『講座イスラーム世界1 イスラーム教徒の社会と生活』191-224頁、東京：栄光教育文化研究所。
 [“Islam of the Bedouins: Egypt” M. Katakura (ed.) *The Islamic World, Vol. 1: Societies and Lives of the Muslims*, Tokyo: Eiko-Kyoiku-Bunka-Kenkyujo.]
- 1993.1.20 「民族の知恵ー砂とサンダル」『季刊民族学』第63号59-60頁。

書評：

- 2002.3.30 「大塚和夫著『近代・イスラームの人類学』」『イスラーム世界』第58号、126-132頁。
 “OHTSUKA Kazuo, An Anthropological Approach to the Modern and Islam,” *The World of Islam* 58: 126-132.
- 2001.9.30 「佐藤次高著『聖者イブラーヒーム伝説』」『オリエント』第44巻第1号、180-188頁。
- 2001.3.31 「鷹木恵子著『北アフリカのイスラーム聖者信仰ーチュニジア・セダダ村の歴史民族誌』」『オリエント』第43巻第2号、161-170頁。
- 1998.8.15 「加藤博著『アブー・スィネータ村の醜聞ー裁判文書からみたエジプトの村社会』」『アジア経済』第39巻第8号、110-114頁。
 “H.Kato, A Scandal of Abu Senita: Egyptian Village Society as Reflected in Judicial Documents,” *Ajia keizai* 39/8: 110-114.

事典項目：

- 2009.1.25 「地域研究—異同を学ぶ(4)」日本文化人類学会編『文化人類学事典』東京：丸善、756-757頁。
- 2008.7.10 「部族と遊牧民」小杉泰・林佳世子・東長靖編『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋：名古屋大学出版会、353-358頁。
- 2007.8.31 「ポストコロニアリズム」村井吉敬・安野正士・デヴィット・ワンク・上智大学21世紀COEプログラム編『グローバル社会のダイナミズム—理論と展望』（地域立脚型グローバル・スタディーズ叢書第1巻）東京：上智大学出版、250-252頁。
- 2005.3 「スーフィー聖者」黒田日出男編『王と国家』（歴史学事典第12巻）東京：弘文堂、394-395頁。
- 2004.12.15 「アブー＝ルゴド、ライラ Abu-Lughod, Lila (1952-) *Veiled Sentiments: Honor and Poetry in a Bedouin Society*, Berkeley: University of California Press, 1986」「大塚和夫(1949-)『いまを生きる人類学 グローバル化の逆説とイスラーム世界』中央公論新社、2002」「クラパンザーノ、ヴィンセント Crapanzano, Vincent (1939-)『精霊と結婚した男—モロッコ人トゥハーミの肖像』（大塚和夫・渡部重之訳）紀伊國屋書店、1991 *Tuhami: Portrait of a Moroccan*, Illinois: The University of Chicago Press, 1980)小松和彦・田中雅一・原毅彦・渡辺公三編『文化人類学文献事典』東京：弘文堂、11、361、410頁。
- 2004.2 「修道場(ザーウィヤ、テッケ、ハーンカー、リバート)」「数珠」「聖者廟」「タリーカ」岸本美緒編『宗教と学問』（歴史学事典第11巻）東京：弘文堂、317、324-325、404-405、455-456頁。
- 2003.8.15 「親子と相続」「禁じられた食べ物」「男らしさと名誉」「通過儀礼」後藤明・山内昌之編『イスラームとは何か』東京：新書館、196-197、198-199、202-203、204-205頁。
- 2002.3.25 「あいさつ(片倉もところ共著)」「カビーラ」「サヌースィー教団」「シャハーダ」「復讐」片倉もところ・加賀谷寛・後藤明・内藤正典・中村光男編『イスラーム世界事典』東京：明石書店、39-40、172-173、205-206、217、325頁。
- 2002.2.20 「あいさつ」「アフマド・バダウィー」「アレクサンドリア」「イタリア・トルコ戦争」「ウィルド」「歌」「贈り物」「歓待」「喫煙」「キレナイカ」「系譜」「サヌースィー、イドリース」「サヌースィー教団」「サヌースィー、ムハンマド」「シャイフ」「ジャマーヒーリーヤ」「スィーフ・オアシス」「坐り方」「フィールドにおける聖者=現代の聖者①」「長幼の序」「デュルケム」「賭博」「トリポリ」「ハドラ」「ヒズブ」「ベドウィン」「ムフタール、ウマル」「遊牧」「ユーモア」大塚和夫・小杉泰・小松久男・東長靖・羽田正・山内昌之編『岩波 イスラーム辞典』東京：岩波書店、1、27、98、142、192、199、226、298-299、305、320-321、353-354、405-406、406、406、446、463-464、528、549-550、560-561、642、657、683、686-687、770、809-810、871-872、987、1020-1021、1024-1025頁。
- 2000.7.15 「アウラード・アリー」「アカクラ」「アハッガル」「カトゥアーン」「サアーディ」「サヌースィー」「サンマルース」「ジバルナ」「ジャワービース」「ジュミーアート」「ズワーヤ」「ナフーサ」「バニー・サッラム」「バヌー・スライム」「バヌー・ヒラール」「ハラーティーン」「ハラービー」「ファワーヒール」「ベドウィン」「マラブー」「ムラービティーン」「ラムタ」「リビア」綾部恒雄監修『世界民族事典』東京：弘文堂、10-11、12、27、161、271、280、293、302、315、318-319、344、470、520、521-522、522-523、531、531-532、567、600、652、678-679、739、896-897頁。
- 1998.7.1 「第2部 民族遊戯・各国編—エジプト」大林太良・岸野雄三・寒川恒夫・山下晋司編『民族遊戯大事典』562-566頁、東京：大修館書店。
- 1998.2 「ラドクリフ＝ブラウン Alfred Regunakd Radckuffe-Brown (1881-1955)『未開社会における構造と機能』1995年刊」「リーチ Edmund Ronald Leach (1910-1989)『人類学再考』1961年刊」「リーチ Edmund Ronald Leach (1910-1989)『文化とコミュニケーション』1976年刊」見田宗介・上野千鶴子・内田隆三・佐藤健二・吉見俊哉・大澤真幸編『社会学文献事典』東京：弘文堂、110-111、624、625頁。
- 1992.5.31 「ベドウィンとスーク」板垣雄三・後藤明編『事典 イスラームの都市性』310-312頁、東京：亜紀書房。

資料：

- 2008.10.10 「新風息吹くウランバートル」(アジア中東学会連合(AFMA)第7回大会参加記)『日本中東学会ニューズレター』115号、12-13頁。
- 2007.3.2 川島緑・赤堀雅幸・寺田勇文「上智大学アジア文化研究所図書室」特集・アジア地域関連コレクション—わが国主要図書館の所蔵資料から『アジア研 ワールド・トレンド』第138号、18-19頁。
- 2006.10.19 赤堀雅幸・加藤博・東長靖・臼杵陽・三浦徹・店田廣文「第2回中東学会世界大会(WOCMES-2)参加報告」『日本中東学会ニューズレター』第108号、4-9頁(「事業報告」4-5頁を担当)。
- 2005.3.15 “JAMES International Workshop Changing Knowledge and Authority in Islam, Session 1: Sufism and Tariqa Movements in the Era of Islamic Resurgence,” *JAMES Newsletter* 101: 4-6.
- 2004.6.21 三浦徹・佐藤次高・赤堀雅幸・松永奉行・栗田禎子「日本中東学会国際ワークショップ報告 Changing Knowledge and Authority in Islam (イスラームの変容する知と権威)」『日本中東学会ニューズレター』第98号、22-32頁。
- 2003.12.19 「第37回北米中東学会年次大会に参加して」『日本中東学会ニューズレター』第95号、13-14頁。
- 2003.3.15 東長靖・赤堀雅幸「第1回中東学会世界大会」『地域研究スペクトラム』第9号、18-19頁。
- 2002.12.6 「Sufi Saints and Non-Sufi Saints: Sacredness, Symbolism, and Solidarity」『日本中東学会ニューズレター』第92号3-5頁。
- 2000.6.30 「第16回年次大会プログラム 研究発表会場からの報告 第3部会(午前の部)」『日本中東学会ニューズレター』第81号、13-14頁。
- 1996.12 “The First Takashima Award,” *Nilo-Ethiopian Newsletter* 3/4: 34-37.
- 1994.3.31 山下晋司・赤堀雅幸・常田夕美子「第92回アメリカ人類学会年次大会」『民族学研究』第58巻4号、397-400頁。

翻訳：

- 1995 Fujio Komura. *The History of Islam in Japan*, M.Akahori et al. tr., Tokyo: The Japan League for Friendship with Islam.
(印刷中)
(原著：小村不二男著『日本イスラーム史』東京：日本イスラーム友好連盟)。
- 1995 ティモシー・ミッチェル『エジプト植民地化』大塚和夫・赤堀雅幸訳、東京：同文館出版。
(準備中)
(原著：Timothy Mitchell 1988 *Colonising Egypt*, Cambridge: Cambridge University Press)。
- 1988.5.20 フランシス・ロビンソン『イスラーム世界』図説世界文化地理大百科、板垣雄三監訳、東京：朝倉書店。
(原著：Francis Robinson 1982 *Atlas of the Islamic World since 1500*, London: Equinox)。

その他：

- 2010.2.26 「『現地拠点活用による協働型地域研究者養成』プログラムによる現地調査支援について」『組織的な大学院教育改革推進プログラム採択 現地拠点活用による協働型地域研究者養成—地域研究のインタラクティビティ(双方向性)推進に向けて 平成20年度現地調査支援報告書』上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻、i頁。
- 2005.1. 「まえがき」赤堀雅幸・東長靖・堀川徹編『イスラームの神秘主義と聖者信仰』東京：東京大学出版会。
- 2005.1. 「イスラーム世界の主な聖者廟一覧」赤堀雅幸・東長靖・堀川徹編『イスラームの神秘主義と聖者信仰』東京：東京大学出版会。
- 2004.12.31 “Editor’s Note,” special issue: “Towards New Perspectives on Studies of Sufis, Saints and Sayyid/Sharifs,” *Journal of Sophia Asian Studies* 22: 1-2.
- 2002.3 “Preface,” Abderrahmane Lakhsassi, *Ziyara to a Pilgrimage Center in Morocco: The Case of Sidi Hmad u-Musa (SHM)*, Islamic Area Studies Working Paper Series No. 26, Tokyo: Islamic Area Studies Project, pp. 1-3.
- 2000.9.30 柳橋博之・中西久枝・赤堀雅幸「イスラームと婚姻—伝統と変容」『イスラーム世界』第55号、47-72頁。

- Yanagihashi Hiroyuki, Nakanishi Hisae, Akahori Masayuki, "Marriage in Islam: Continuity and Change," *The World of Islam* 55: 47-72.
- 1998.2.28 赤堀雅幸・飯塚正人・岡真理・後藤明・東長靖・堀川徹・三沢伸生「座談会 日本のイスラーム世界研究の回顧と課題」『イスラーム世界』第50号、130-60頁。
AKAHORI Masayuki, IIZUKA Masato, OKA Mari, GOTO Akira, TONAGA Yasushi, HORIKAWA Toru, and MISAWA Nobuo "A Round-Table Discussion, Islamic Studies in Japan: Retrospect and Prospect," *The World of Islam* 50: 130-60.

インタビュー :

- 2006.10.25 「ベドウィンの暮らしと精神性にみる人類の多様性と共通性」(TOP STORY〜新世紀への提言〜)『長野商工会議所だより』第700号、1-5頁。

口頭発表 :

- | | | |
|------------|---|--|
| 2010.02.13 | (司会) SIAS/ KIAS Joint International Workshop "Diversity in the Traditions and Reforms of Islam" | 上智大学 |
| 2010.02.04 | 「人類学・歴史学によるアラブ系部族組織再考」シンポジウム「セム系部族社会の形成-ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究」 | あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) |
| 2009.11.22 | "Preliminary Anthropological Survey of the Villages in Wādī Raḥūm and around Tall Ghānim al-'Alī" International Symposium "Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria" | 池袋サンシャインシティ文化会館 |
| 2009.09.23 | (司会) International Conference "The Role and Position of Sayyid/ Sharifs in Muslim Societies," Panel 5: Sailing through The Contemporary World | 東京大学東洋文化研究所 |
| 2009.07.12 | (司会) SIAS/ KIAS Joint International Workshop "Depth and Width of Islamic Culture and Society" | 京都大学 |
| 2009.04.18 | 「19-20世紀のビシュリ山系周辺の遊牧民」特定領域研究「セム系部族社会の形成」平成21年度第1回研究会 | 池袋サンシャインシティ文化会館 |
| 2009.02.09 | 「水ギセルの楽しみ」国際交流基金2008年度第2期異文化理解講座「中東の暮らしを楽しむー遊び・メディア・生活文化」 | ジャパンファウンデーション JFIC ホール「さくら」 |
| 2009.02.01 | 「イスラーム期以降のアラブ系部族の特徴」平成17~21年度文部科学省科学研究費補助金(特定領域研究)「セム系部族社会の形成ーユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究」第5回公開シンポジウム「紀元前3千年紀の西アジアーユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る」 | 国立国会図書館 鶴川キャンパス 13号館2階 13205 教室 |
| 2008.12.03 | 「ヒツジと歩くーベドウィンの食と生活」大東文化大学国際関係学部連続講演会「アジアの『食』を歩く」第2回 | 大東文化大学東松山キャンパス |
| 2008.09.06 | "Nomads, Pastors and Tribesmen: Social Organization of the Bedouins in the Egyptian Wilderness," Session 4: Social Issues, The 7th International Conference of Asian Federation of Middle East Studies Associations | National University of Mongolia, Ulaanbaatar |
| 2007.01.26 | 「現代スーフィズムの人類学」東洋大学研究所間プロジェクト・シンポジウム | 東洋大学 |
| 2006.12.06 | 司会。上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科開設記念シンポジウム「グローバル化時代の学術フロンティアへ」第1部:問題提起
Inaugural Symposium for the Graduate School of Global Studies, Sophia University, "Academic Frontiers for a Global Century" | 上智大学 |
| 2006.11.25 | 「日本における中東研究とイスラーム地域研究」地域研究コンソーシアム平成18年度年次集会企画シンポジウム「研究史としての日本の地域研究ー戦前、戦後、そして未来へ」 | キャンパス・イノベーションセンター |
| 2006.6.13 | "The Transformation of Saintliness in the Process of Succession: Saints and their Descendants in the Western Desert of Egypt," 第2回中東研究世界大会(The Second World Congress for Middle Eastern Studies, WOCMES 2) 日本中東学会 | Le Meridien Amman Hotel |

	主催パネル Panel S06P054, “The Logic of Succession around Sufis and Saints II/Constructing Trilogue around the Middle East II”	
2006.3.25	コメンテータ。閉会挨拶。上智大学ポルトガル・ブラジル研究センター・大学院外国語学研究科地域研究専攻主催国際シンポジウム「甘さのグローバルイゼーション—サトウキビ栽培の伝播と文化変容 (Globalization and Sweetness: The Diffusion of Sugarcane Culture and Cultural Change) 」	上智大学
2005.11.19	司会。平成 17 年度上智大学 COE プログラム「地域立脚型グローバル・スタディーズの構築」主催国際シンポジウム「宗教を消費する—グローバル化時代の信仰のかたち (Consuming Religion: Globalization and Popular Beliefs) 」第 2 部：討論。	上智大学
2005.7.2	「スーフィー聖者とイスラームの聖者—エジプト西部砂漠における聖者の末裔部族から」平成 17 年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B) 「環地中海世界の聖地巡礼と民衆信仰」(研究代表者 関哲行流通経済大学社会学部教授) 研究会	上智大学
2005.3.25	招待コメンテータ (invited respondent)。第 19 回国際宗教学宗教史会議世界大会 (The 19th World Congress of the International Association for the History of Religions, IAHR 2005 Tokyo) セッション 02O “Sufism: A Perspective for Peace and Coexistence”	高輪プリンスホテル、サクラタワー
2005.3.15	「スイディ・ムハンマド・アウワーム—聖者と村のイスラーム主義者たち (Sidi Muḥammad al-‘Awwām: A Saint and Islamists of an Egyptian Bedouin Village) 」筑波大学北アフリカ研究センター (Alliance for Research on North Africa, University of Tsukuba) ・人文社会科学部研究科 (Graduate School of Humanities and Social Sciences) 主催国際シンポジウム「交差するアジア・北アフリカ・文化・科学技術研究 (At the Crossroads of Asian & North African Culture and Technology) 」(2005 年 3 月 15—17 日) セッション 1 「北アフリカの社会と宗教 (Society and Religion of North Africa) 」	国際交流基金国際会議場
2005.3.4	司会 (moderator)。平成 16 年度上智大学 COE プログラム「地域立脚型グローバル・スタディーズの構築」主催国際シンポジウム「地域から読み解くグローバル化 (Globalização: Análise Compreensiva a partir da Perspectiva Local e Regional) 」第 1 セッション「グローバル化を通して (Visão Global) 」	サンパウロ大学日本文化会館 (Auditório Prof. Kensuke Tamai da Casa da Cultura Japonesa da Faculdade de Filosofia, Letras e Ciências Humanas da Universidade de São Paulo)
2005.2.16	「聖者崇敬の祭り、精霊信仰の集い」国際交流基金中東理解講座第 3 期「スーフィー・聖者・精霊の世界—民衆のイスラーム」	国際文化会館
2005.1.21	司会。上智大学外国語学部シンポジウム「スマトラ沖地震・津波緊急報告—現地は？そして私たちの考えておくべきことは？」	上智大学 10 号館講堂
2005.1.12	「民衆のイスラーム理解に向けて」国際交流基金中東理解講座第 3 期「スーフィー・聖者・精霊の世界—民衆のイスラーム」	国際文化会館
2004.3.25	司会。日本中東学会主催国際シンポジウム“Changing Knowledge and Authority in Islam”(2004 年 3 月 25—26 日) 第 1 セッション “Sufism and Tariqa Movements in the Era of Islamic Resurgence”。	東京大学山上会館
2004.3.12	司会。平成 15 年度上智大学 COE プログラム「地域立脚型グローバル・スタディーズの構築」主催国際シンポジウム「文化遺産とアイデンティティと IT (情報技術) —アンコール・ワットと 3 次元 (3D) 技術の活用 (Cultural Heritage, Identity, and Information Technology: Angkor Wat and the Use of Three Dimensional Digital Imaging Technology) 」(2004 年 3 月 12—14 日) 第 2 セッション「文化遺産とアイデンティティと地域『文化』(Cultural Heritage, Identity and Local Culture) 」。	上智大学アジア人材養成研究センター (カンボジア共和国 シェムリアップ州 シェムリアップ市)
2004.1.31	「イスラーム世界における IT 化とグローバル化をめぐる研究への序論」	上智大学

	2003 年度日本私立大学振興・共催事業団学術研究振興資金「環境と開発に関するアジア地域比較研究－IT かとグローバル化の進展のなかで」最終研究会研究発表。	
2004.1.28	コメンテータ。大稔哲也「参詣書・墓地とタサウウフのあいだ」日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) (1) 「東アラブおよびトルコにおけるスーフイズム・聖者信仰複合の学際的研究」研究合宿。	東洋大学箱根保養所
2004.1.27	司会。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) (1) 「東アラブおよびトルコにおけるスーフイズム・聖者信仰複合の学際的研究」研究合宿セッション2。	東洋大学箱根保養所
2003.12.14	ディスカッサント、総合討論司会。九州史学会大会イスラム文明学会シンポジウム「歴史のなかのスーフイズム」。	九州大学法文系講義棟
2003.11.24	「『世界の母なる国』への留学－エジプト」第21回将来世代留学生フォーラム (2003 年 11 月 23 日－24 日)、将来世代総合研究所主催、世代継承活学社共催	京都、大覚寺内嵯峨華道専門学校嵯峨寮
2003.11.8	ディスカッサント。第38回北米中東学会年次大会 (38th Annual Meeting of the Middle East Studies Association of North America) (2003 年 11 月 6－9 日) セッション P011 “Crossing Boundaries: Gender, the Public, and the Private in Contemporary Muslim Societies”。	Hilton Anchorage & Egan Convention Center
2003.6.28	「聖者の末裔部族をめぐる－イスラーム聖者論とベドウィン出自論の接合」埼玉大学文化人類学セミナー。	埼玉大学
2003.4.16	招聘コメンテータ。Muhammad Ahmad al-Sharif, “al-Islām wa munāḥaḍa al-irḥāb”に対するコメント。チュニジア共和国大統領主催国際会議「イスラームと平和」 (al-Islām wal-Salām / L’islam et la Paix / Islam and Peace) 第3セッション “al-Islām wal-‘irāqāt al-dawliya / Islam et Relations Internationales / Islam and International Relations”。	Abou Nawas Hotel, Tunis (チュニジア共和国)
2002.9.11	“A Saint of the Present-Day Tribal People in the Egyptian Desert: Three Different Hagiographic Traditions,” 第1回中東研究世界大会 (World Congress for Middle Eastern Studies, WOCMES) セッション 159, 180, 199, “Sufi Saints and Non-Sufi Saints: Sacredness, Symbolism, and Solidarity”。	ヨハネス・グーテンベルグ大学 (マインツ) Johannes Gutenberg-Universität Mainz (ドイツ共和国)
2002.7.24	「スーフイズムおよび聖者信仰をめぐる人類学理論の整理と展望」日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) (1) 「東アラブおよびトルコにおけるスーフイズム・聖者信仰複合の学際的研究」研究会	京都大学
2002.3.10	「人類学と中東研究からイスラーム地域研究へ－民衆の聖者信仰を事例に」平成13年度文部省科学研究費補助金学術創成研究『現代イスラーム世界の動態的研究－イスラーム世界理解のための情報システムの構築と情報の蓄積』公開シンポジウム『これからのイスラーム地域研究－イスラーム世界の統一性と多様性 (2) 』	東京大学
2002.1.24	「イスラームを知るために－基礎・実践・現代」カトリック戸塚教会主催『1月24日－アシジ世界諸宗教代表者と共に祈る』講演	カトリック戸塚教会
2001.12.1	「遊牧民の暮らしぶり」朝日カルチャーセンター・2001年10月期講座『イスラーム文明の過去・現在・未来』第4回	朝日カルチャーセンター東京
2001.10.9	「イスラームと／の近代化」新経営研究会 (FMT) 10月例会	厚生会館
2001.10.7	“Partly Saints and Partly Bedouins: The Murabiṭin People among the Bedouins of the Western Desert of Egypt.” 平成13年度文部省科学研究費補助金学術創成研究『現代イスラーム世界の動態的研究－イスラーム世界理解のための情報システムの構築と情報の蓄積』国際シンポジウム“The Dynamics of Muslim Societies: Toward New Horizons in Islamic Area Studies,”第4セッション“Sufi and Saints among the People in Muslim Societies.”	かずさアカデミアセンター
2001.6.1	「イスラームは偶像破壊を許容するのか」上智大学外国語学部・上智大学	上智大学

2001.1.20	アジア文化研究所『上智大学外国語学部シンポジウム—アジアの文化遺産の破壊—バーミヤン大仏の破壊からアンコール・ワットの廃仏発見まで』ディスカッサント。平成 12 年度文部省科学研究費中核的研究拠点形成 (COE) 基礎研究費「アジア・アフリカにおける地域編成—原型・変容・転成」による京都大学東南アジア研究センター・京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科主催国際会議「地域研究—これまでの経験とこれからのヴィジョン—」 (COE International Conference, Area Studies: Past Experiences and Future Visions, organized by CSEAS / ASAFAS, Kyoto University) 第 2 部「日常生活、イデオロギー、国家形成と資本主義」第 2 セッション「スーフィー思想とその地域的形成—イブン・アラビーとアジア・アフリカにおけるその学派」 (Part 2. Everyday Life, Ideologies, State Formation and Capitalism, Session 2. Sufi Thought and Regional Formation: Ibn 'Arabi and His School in Asia and Africa)	京都国際交流会館 Kyoto International Community House
2000.9.30	「人類学の中東研究／中東の人類学研究—21 世紀と不惑に向けての見通し—」平成 12 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) (1) 『グローバル化の中のアラブ・ムスリム世界—人類学的アラブ研究の展望』第 1 回研究会	京都文教大学
2000.9.29	「書評研究：The Lesser Jihād, Chapter 2: The Challenge of European Anti-Sufism in E. Sirrieyeh, <i>Sufis and Anti-Sufis: The Defence, Rethinking, and Rejection of Sufism in the Modern World</i> , Richmond, Surrey: Curson, 1999」文部省科学研究費補助金創成的基礎研究『現代イスラーム世界の動態的研究—イスラーム世界理解のための情報システムの構築と情報の蓄積—』研究班 2 グループ C 研究会	上智大学
2000.7.15	「地域研究と人類学—教育実践における関係」日本民族学会関東地区 2000 年度第 1 回研究懇談会『教室のなかの人類学—「教え方」のスキルと現実』	慶應義塾大学
2000.7.8	「ベドウィンの湾岸戦争—サッダーム・フセインを歌う人々」文部省科学研究費補助金創成的基礎研究『現代イスラーム世界の動態的研究—イスラーム世界理解のための情報システムの構築と情報の蓄積—』2000 年度全体集会『歴史としての湾岸戦争』	東京大学
2000.5.27	「書評研究・鷹木恵子『北アフリカのイスラーム聖者信仰—チュニジア・セダダ村の歴史民族誌』」文部省科学研究費補助金創成的基礎研究『現代イスラーム世界の動態的研究—イスラーム世界理解のための情報システムの構築と情報の蓄積—』研究班 2 グループ C 研究会	上智大学
2000.5.13	“Nomads, Pastors and Tribesmen: A View of Ex-Nomads and Their Life in the Egyptian Wilderness”, 日本中東学会第 16 回年次大会 (16th Annual Meeting of Japan Association for Middle East Studies) 公開シンポジウム (Open Symposium: Nomads and Their Role in the Muslim World: From Comparative Perspective)	北海道大学
2000.2.18	「イスラームと／の多元文化主義」上智大学学内共同研究「地域研究と外国語教育」研究発表	上智湘南ハイム
1999.11.15	「イスラームとコーヒー」上智大学公開学習センター教養・実務講座『コーヒー文化入門』第 5 回	上智大学
1999.11.06	「窓の技—Windows 環境での論文作成能率向上をめざして」第 4 回イスラーム世界研究懇話会 (文部省科学研究費補助金創成的基礎研究『現代イスラーム世界の動態的研究—イスラーム世界理解のための情報システムの構築と情報の蓄積—』研究班 1 および 6 共催) 『デジタル情報化時代の研究作法』	京都大学
1999.10.15	「イスラームの基礎：五行」上智大学公開学習センター教養・実務講座『多様なイスラーム—地域と分野を超えたアプローチ』第 2 回	上智大学
1999.10.8	「イスラームの基礎：六信」上智大学公開学習センター教養・実務講座『多様なイスラーム—地域と分野を超えたアプローチ』第 1 回	上智大学

1999.6.26	「死をめぐるイスラームの教義と実践」大阪大学大学院文学研究科広域文化形態論講座・地域社会論専門分野によるプロジェクト「死の習俗の比較史」研究会	大阪大学
1999.4.24	「イスラム世界の結婚－アラブを事例に」日本イスラム協会 1999 年度前期公開講演・シンポジウム『イスラームと婚姻：伝統と変容』	立教大学
1999.2.25	“Ziyara and Saint Veneration among the Bedouins in the Western Desert of Egypt.” 文部省科学研究費補助金創成的基礎研究『現代イスラーム世界の動態的研究－イスラーム世界理解のための情報システムの構築と情報の蓄積－』研究班 5 主催ワークショップ「ズィヤーラ：イスラーム世界における参詣慣行の歴史学／人類学的研究 (Ziyara: Ethno-Historical Study of Muslim Visitation to Religious Places)」研究発表	上智大学
1998.12.15	パネル・ディスカッサント。上智大学公開学習センター教養・実務講座『現代世界と多元文化』第 10 回。	上智大学
1998.12.5	”Anthropology, Middle East studies and Islamic Area Studies.” 第 32 回北米中東学会年次大会 (32nd Annual Meeting of the Middle East Studies Association of North America) 特別部会ワークショップ (Special Session Workshop: The Scope and Potential of Islamic Area Studies: Views from Japan and the United States) 研究発表。	Chicago Hilton & Towers
1998.11.6	「イスラームと多元文化主義」上智大学公開学習センター教養・実務講座『現代世界と多元文化』第 6 回。	上智大学
1998.10.5-12.21 (全 10 回)	「新・地中海世界 3 庶民のイスラーム－文化人類学からのアプローチ」NHK 文化センター青山教室教養講座「歴史に学ぶ・現代を考える」	NHK 文化センター青山教室
1998.6.20	「砂漠の今を生きるベドウィンたち－エジプト西部砂漠に暮らす人々の過去・現在・未来－」上智大学公開学習センター教養・実務講座『アジア映像人類学と多元文化世界－アジア各地の少数民族の生活に学ぶ』第 3 回。	上智大学
1998.3.24	「砂漠の民ベドウィンの現在」福岡国際交流協会平成 9 年度アジア学講座『変化の時代をともに生きるアジアの民族 第 5 回 西アジア』。	福岡・天神ビル 11 号会議室
1998.1.31	「砂漠の聖者の末裔たち－聖者性の継承についての事例研究」文部省科学研究費補助金創成的基礎研究『現代イスラーム世界の動態的研究－イスラーム世界理解のための情報システムの構築と情報の蓄積－』研究班 5 グループ A (聖者信仰研究会)・研究班 2 グループ C (スーフィズム研究動向研究会) 合同研究合宿発表 2。	関西大学 100 周年記念セミナーハウス 高岳館
1997.12.12	「今に生きる聖者たち」朝日カルチャーセンター講座『イスラーム神秘主義と聖者崇拝－世紀末現象をイスラーム文明から考える』第 4 回。	朝日カルチャーセンター東京
1997.6.5	「今を生きる砂漠の民」上智大学公開学習センター教養・実務講座『21 世紀の「地域像」と国際社会－アジアと中東のフィールドワークから考える』第 7 回。	上智大学
1997.1.27	ディスカッサント。国立民族学博物館地域研究企画交流センター特別共同研究「中東における国家形成と民族関係」セッション 4 「エスニシティとアイデンティティ」(於：). discussant of JCAS Joint Research Project on State, Nation, and Ethnic Relations; The First International Symposium “State formation and Ethnic Relations in the Middle East, Session 4: Ethnicity and Identity (National Museum of Ethnology)	国立民族学博物館
1996.10.26	「君の名は－『住民の視点から』を再考する」国立民族学博物館共同研究『人類学の解釈学的転回』平成 8 年度第 3 回研究会研究発表	国立民族学博物館
1995.10.19	「『テキストのマフディズム』のテキストの・・・」国立民族学博物館地域研究企画交流センター共同研究「イスラーム復興運動－中央アジア、西アジアとアフリカの関係－」平成 7 年度企画「大塚和夫著『テキストのマフディズム』を読む (2)」。	国立民族学博物館地域研究企画交流センター
1995.6.7	「聖者が砂漠にやってきた－エジプト西部砂漠ベドウィンの部族・聖者・聖者の末裔－」専修大学現代文化研究所平成 7 年度第 1 回定例研究会研	専修大学生田校舎

1995.5.7	究発表。 「エジプト西部砂漠のベドウィンの部族について (2) ー聖者の末裔部族ー」 日本中東学会 10 周年記念大会研究発表。	一橋大学
1995.3.10	「すでに書かれた『住民の視点』とまだ書かれていない『民族誌』」 国立民族学博物館共同研究『民族誌的現在の歴史的分脈』平成 6 年度第 3 回研究会研究発表。	国立民族学博物館
1994.5.15	「エジプト西部砂漠のベドウィンの部族について (1) ームラービティーンー」 日本中東学会第 10 回年次大会研究発表。	拓殖大学文学部
1993.11.17	“Democracy in the Desert?: Bedouins and the National Election of 1990, Egypt.” 第 92 回アメリカ人類学会年次大会 (92nd Annual Meeting of American Anthropological Association) 研究発表。	Washington Hilton & Towers
1993.11.7	「イスラーム世界における死者祭祀」比較家族史学会第 24 回研究大会研究発表。	佛教大学文学部
1992.12.19	「アウラード・アリーとの千年の旅ー関係性としての移動ー」東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所平成 4 年度『イスラーム圏における異文化接触メカニズム』プロジェクト第 2 回研究会研究発表。	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
1992.11.14	日本民族学会関東地区研究懇談会 (1992 年度第 2 回) 『アラブとの遭遇』研究発表。	東京大学教養学部
1992.11.6	「ベドウィンに見る出自集団間関係ーエジプト西部砂漠の事例からー」 東京都立大学社会人類学研究会研究発表。	東京都立大学人文学部
1992.10.25	「ベドウィンの聖者崇拜ーエジプト西部砂漠の事例からー」 第 46 回日本人類学会・日本民族学会連合大会研究発表。	大阪大学人間科学部
1992.7.16	「祝福と知識ーベドウィンの聖者崇拜ー」 東京大学文化人類学研究会研究発表。	東京大学教養学部
1992.5.23	「遊牧と定住のはざまーエジプトの遊牧民アウラード・アリーの村落形成ー」 日本民族学会第 27 回研究大会研究発表。	南山大学文学部
1992.5.10	「エジプトの遊牧民アウラード・アリーのための『スンニー』たちー逸脱する正統ー」 日本中東学会第 8 回年次大会研究発表。	慶應義塾大学文学部
1991.10.11	「エジプトの遊牧民アウラード・アリーに見る歌謡の形成過程」 第 45 回日本人類学会・日本民族学会連合大会研究発表。	東京大学教養学部
1991.7.20	「暮らしてみたアラブ」エルダーホステル箱根講座『イスラーム世界を探る』 (日本エルダーホステル協会主催)。	箱根アカデミーハウス

コーディネーター :

2006.6.13	第 2 回中東研究世界大会 (The Second World Congress for Middle Eastern Studies, WOCMES 2) 日本中東学会主催パネル Panel S05P041, “The Logic of Succession around Sufis and Saints I/ Constructing Trilogue around the Middle East I”および Panel S06P054, “The Logic of Succession around Sufis and Saints II/ Constructing Trilogue around the Middle East II”コンビーナー
2005.1.12-2005.3.2	国際交流基金中東理解講座第 3 期「スーフィー・聖者・精霊の世界ー民衆のイスラーム」全 7 回、コーディネーター
2002.9.11	第 1 回中東研究世界大会 (World Congress for Middle Eastern Studies, WOCMES) セッション 159、180、199、“Sufi Saints and Non-Sufi Saints: Sacredness, Symbolism, and Solidarity”コンビーナー
1999.10.8- 1999.12.17	上智大学公開学習センター教養・実務講座『多様なイスラームー地域と分野を超えたアプローチ』コーディネーター

その他

2000.7.15	綾部恒雄監修『世界民族事典』東京：弘文堂 (項目選定委員)
-----------	-------------------------------

以上